

お客様よりオススメ本の紹介



10/23~11/30の間、森の図書館をご利用されていらっしゃるお客様のオススメ本やお気に入りの本のアンケートをいたしました。

今後、3回に渡って本と共に寄せられたコメントも一緒にご紹介いたします。ご協力ありがとうございました。

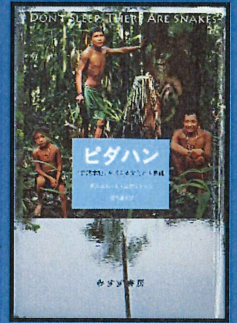
まず第一回は2冊をご紹介！次回は森のたより9号に掲載を予定しております。

P.N book worm 様のご紹介

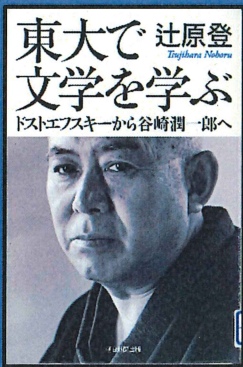
『ピダハン』 ダニエル・L・エヴェレット著/みすず書房 分類：382.6

南米アマゾン奥地に住むピダハン族の言語とユニークな認知世界を描き出す科学ノンフィクション。

驚きあり、笑いありで読み進むうちに私たちに馴染む西欧的な普遍幻想が根底から崩れ始める。著者はピダハンを知り、チョムスキーの普遍文法への批判を正面から展開している。



P.N あみー様のご紹介



『東大で文学を学ぶ ドストエフスキーから谷崎潤一郎へ』

辻原登著/朝日新聞社出版 分類：904 (中央館所蔵)

谷崎潤一郎ってあの人でしょ、マゾヒズムとかエロティシズムとかよく分からない本書いてる。

いえいえ、実は違うんです。東大きっての人気講師辻原登が独自の視点から古今東西様々な文学を読み解いた珠玉の一冊。(ちなみに谷崎潤一郎の作品は、古事記とか源氏物語とかをふまえて解説されていてとても面白かったです。) この本何が言いたいのか、というかゆいところに手が届くすぐれものな本です。



ごちそうたっぷり
冬ごはん

厳しい寒さがやってきます。温かいものが食べたいくなる季節。煮物や鍋物、いつもと一味違うほかの県の郷土料理はいかがですか？

『しょうゆが香る郷土料理』

日本醤油協会 分類：596



日本人にとって切っても切れないのが“おすし”。お祝い事や行楽行事にぴったりの太巻き祭りずしのご紹介です。

切ってみるまでどんな風に模様が出るかお楽しみ。思い通りの絵が出るかな？



『母と子の楽しい太巻き祭りずし
作り方教室』

龍崎英子著/東京書店 分類：596

埋もれてしまっては
もったいない！

貸出し回数が少ない本の

展示

1月の一般展示では、森の図書館所蔵の本の中から貸出し回数が0回から2回までしかないものを集めて展示します。

もちろん貸出し可能！日の目を見ることの少なくなった、埋もれてしまった本たちを、ぜひ一度お手に取ってみてください。あなたが最初の読者になってくれるのを待っています！

(展示期間：1月~2月 予定)